

### 〈シリーズ「私の森語り」〉

シリーズ

# 「私の森語り」

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



「想いをつなぎ、心豊かな

共感社会づくりを目指す」



株式会社エスウッド 代表取締役 長田 剛和

#### ■自己紹介

岐阜県各務原市で、国産材ストランドボードの開発・製作や、社会や地域の声を反映した建材のカスタマイズを実践している共感開発メーカーの代表をしています。

エスウッドでは、想いの共感できる仲間と、環境、まちづくり、教育の三つの柱で活動をしています。

#### ■活動内容

エスウッドは、森林資源が豊富な岐阜県の恵みをいただき、地域材、特に間伐材や小径材に新たな価値を、新たなマテリアル利用を



岐阜県産ヒノキのストランドボードを 書架、収納ケース、テーブルなどに使用 (ぎふメディアコスモス)

していくことを目的に設立しました。岐阜県の特徴あるヒノキやスギ、そして最近では飛騨地域の広葉樹のストランドボード開発にも積極的に取り組んでいます。時代とともに、山の状況も変わりますが、山の状況や管理など、山に寄り添ったかたちでいかに社会に価値あるものを創っていくか、そうした想いは設立当時から変わらないものとして受け継がせてもらっています。

SDGsの取り組みとして、二十数年培ってきたストランドボードの技術を土台とし、いぐさやヨシ、竹、もみながら、稲わら、茶葉のカスタマイズのボード建材開発をはじめ、コーヒー豆カス等の食品廃材、工場から排出されるパッケージ端材や木質端材等の循環を目指した新たなボード開発にも取り組ませていただいています。



大学との連携によるものづくり



木育による作品づくり

また、「想いをつなぎ」を理念に、地域や企業、行政、NPOをはじめ大学や高校、子供たちと一緒に想いをのせた建材開発や木育、大学研究・VR等の研究など、たくさんの方と関わり、未来を創っていく取り組みを実践しています。

#### ■メッセージ

時代の変化とともに、社会や地域の状況も変わっていきませんが、変わらないものとして会社の理念や自分自身の人生観があると思っています。弊社でも創業者の想いや設立時の理念を大事にし、その上で時代に合わせたビジョンがあります。私たちが目指すのは、大量生産、大量消費の建材ではなく、少量生産から社会や地域に寄り添い、想いを伝えることのできる建材開発・製作の実践を通じた心豊かになる共感社会づくりです。

多くの仲間とともに、想いを共感しあい、利他の心でより良い社会を創っていければと考えています。

#### ○連絡先

〒509-0108 岐阜県各務原市須衛町7-74-5  
電話：058-379-3023  
<https://s-wood.jp/>



ステークホルダーと想いを形に

